

① 有機栽培への転換により「富士山抹茶」を生産 【Msカンパニー合同会社（富士市）】

有機栽培

■活用した事業

「茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」を活用して有機栽培へ転換（有機栽培への転換に必要な資材の導入、残留農薬の分析、直接被覆栽培への転換に必要な資材の導入など）

■経営の概況

経営面積18ha（うち14haは令和6年4月に有機JAS認定を受け、残り4haも令和7年秋に認証見込み）。「やぶきた」がメインで、「おくみどり」「さえみどり」「つゆひかり」などを栽培しており、次は新しい品種である「しずゆたか」への改植を進める。

■取組内容

・有機栽培

茶価が低迷する中、「有機栽培に適した品種を栽培しているのであれば、有機に転換し、輸出に取り組んだらどうか」という茶商のアドバイスをきっかけに有機栽培を始めた。

肥料は、有機認証機関に確認しながら、鶏ふん、配合肥料等を使用している。また茶園の畝間にカヤを敷いている。いずれ自前の碾茶炉を整備したい。碾茶は抹茶に加工した後に、複数の茶商を通じて米国や欧州に輸出されている。

・海外からの観光客に自慢できるお茶を生産、提供したい

世界文化遺産である富士山にふさわしい、海外からの観光客にも自慢できるようなお土産としてのお茶を生産、提供することが夢。

当園で生産された茶葉で作った抹茶を、地域ブランドの創出に取り組む市内の事業者が「富士山抹茶」として販売し、この「富士山抹茶」を使ったお菓子を、市内に本社のある菓子メーカーが販売することとなった。地域ブランドとしての知名度向上に期待したい。



富士山を望む有機栽培茶園



生産した抹茶を使ったお菓子



富士山抹茶として販売